

(参考1)

個人業績勘案率の評定について

平成17年4月19日
独立行政法人物質・材料研究機構

「独立行政法人物質・材料研究機構における業績勘案率の基準について」(平成17年4月19日 文部科学省独立行政法人評価委員会 科学技術・学術分科会 決定) 「(3)「個人業績勘案率β」の算出」に基づき、役員退職の際に、機構の長(以下「理事長」という。)が当該役員の任期中の個人的な業績を踏まえた個人業績勘案率評定を実施するにあたっては、下記により取り扱うものとする。

記

理事長が行う評定は、各評価項目毎に5段階で評定点を付し、各評定項目についてこれらの評定点の平均点を算出するものとする。

算出された平均点の合計を、評定項目数で除して、個人業績勘案率評定を算出する(小数点第一位未満の端数があるときは、これを四捨五入する)。

具体的には、別紙1「個人業績勘案率算出調書」に基づき算出する。なお、評価根拠に関しても別途資料を作成する。

$$\begin{aligned} & (\text{第1評定項目平均点} + \text{第2評定項目平均点} + \text{第3評定項目平均点} + \text{第4評定項目平均点}) \div \text{評定項目数} \\ & = \text{個人業績勘案率} \end{aligned}$$

○評価項目

区分	評価項目
理事長	第1評定項目(業績目標達成に向けてのリーダーシップ)
	第2評定項目(業務マネジメント)
	第3評定項目(組織・人事マネジメント)
	第4評定項目(対外インパクト)
理事	第1評定項目(業績目標達成のためのリーダーシップ)
	第2評定項目(業務マネジメント)
	第3評定項目(組織・人事マネジメント)
監事	第1評定項目(監査方針設定と組織化活動)

(「業績勘案率の評価を行うに当たっての基本的考え方」(平成16年12月16日 文部科学省独立行政法人評価委員会決定)の別添2を参考とした別紙2「個人的な業績評価の観点」により評定する。)

〇〇〇〇の個人業績勘案率評定算出調書(例)

氏名	役員在職期間
〇〇〇〇	平成〇〇年〇〇月〇〇日 理事(長)就任 平成〇〇年〇〇月〇〇日 理事(長)退任

評価期間	平成〇〇年〇〇月〇〇日～平成〇〇年〇〇月〇〇日 (在職期間 〇月)
------	--------------------------------------

評 定

(評価根拠は別添資料のとおり)

1. 業績目標達成に向けてのリーダーシップ(第1評定項目)

区分	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	計
評価項目1						
評価項目2						
評価項目3						
評価項目4						
評価項目5						
合 計						
平均点(a)						

2. 業務マネジメント(第2評定項目)

区分	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	計
評価項目1						
評価項目2						
評価項目3						
評価項目4						
評価項目5						
評価項目6						
評価項目7						
評価項目8						
合 計						
平均点(b)						

3. 組織・人事マネジメント(第3評定項目)

区分	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	計
評価項目1						
評価項目1						
合 計						
平均点(c)						

4. 対外インパクト(第4評定項目)

区分	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	計
評価項目1						
評価項目2						
合 計						
平均点(d)						

個人業績勘案率評定の算出

(第1評定項目平均点(a)+第2評定項目平均点(b)+第3評定項目平均点(c)+第4評定項目平均点(d))÷評定項目数(4)
=個人業績勘案率評定

物質・材料研究機構算出

$$((0.00 + 0.00 + 0.00 + 0.00)) / 4 =$$